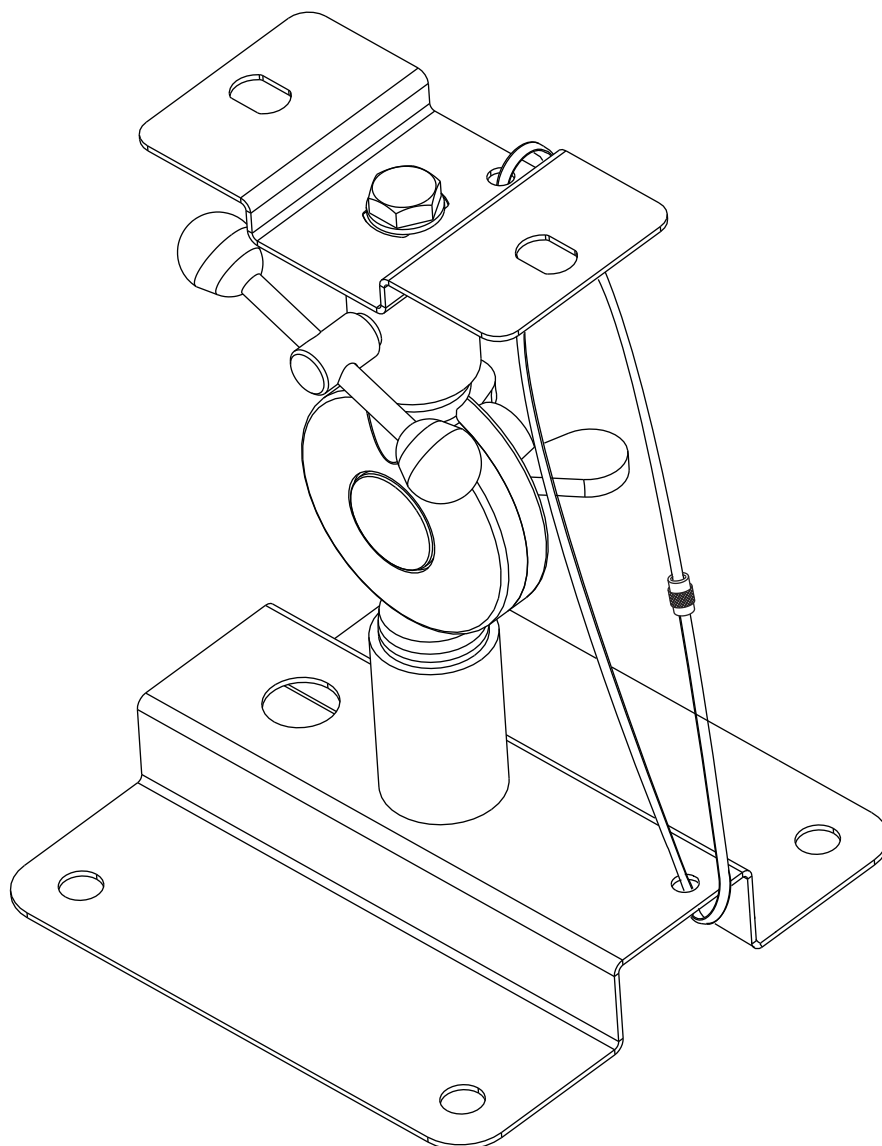


スピーカー壁掛け・天吊り金具 使用・取付け説明書

型番
『SPK-PRZ01』



この度は本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
設置の前に本説明書をよくお読みのうえ正しく設置・使用してください。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性及び、物的損害の発生が想定される内容を示しています。



禁止の行為である事を告げるものです。



行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

注意



本説明書を無視した組み立て設置や誤った組み立て設置、取付け不良、取付け強度不足、本来の目的外の利用及び、天災などによる事故や破損については、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。



金具自体の不備や不具合にはご対応できますが、お客様の壁や天井の構造・強度については当店では責任が持てない事をご了承ください。お客様ご自身で強度をご確認の上、自己責任にて設置をお願いします。



本商品は、日曜大工 (DIY) が得意な方でしたら壁側の構造の確認を十分に行った上で作業をすれば設置可能な場合もあります。ただしお客様による設置施工・工事については弊社では一切保証できず、自己責任となります。また、天吊り設置をする場合、天井裏の梁や補強箇所に取付ける金具となります。天井裏や取付けの知識が無い場合、天吊り設置は大変難しい作業となりますので、専門業者への依頼をお勧めします。



お客様ご自身で取付けを行う際は取付け場所等に十分注意し、自己責任で取付けを行ってください。少しでも不安のある場合は無理に取付けを行わず専門業者へ依頼してください。



必要な部品は本説明書通りの手順で全て確実に取付けてください。不備がある場合、スピーカーの落下事故や家屋の破損が発生する恐れがあります。



取付ける壁面・天井面の材質や場所によって、耐荷重が異なります。取付ける場所を確認し、少しでも取付けが困難と思われる場合は中止してください。天吊りにする場合、天井裏にある梁などのしっかりとした柱もしくは補強合板など強度のある場所にしてください。



一度設置した壁側・天井側の穴を再利用しての再設置は避けてください。取付け強度が極端に低下している場合があります。



商品ごとに定められている許容重量以下のスピーカーのみをご使用ください。



次の場所には、設置をしないでください。

- 石膏ボードのみの場所や砂壁、土壁のような強度の足りない場所、壁、天井
- 振動や衝撃が頻繁にあるような場所及び設置が水平にならないなど不安定な場所
- ぐらつく、傾くなど不安定な場所
- 人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
- 屋外や海岸、温泉に近い場所、温度・湿度の高い場所
- 動力用電源配線、空調機器、防磁型でないスピーカーに近い場所
- テレビの通気が悪い場所、通風を妨げるような場所
- 開閉するドアの近くなど、日常生活の行動に支障をきたす場所
- 常時人がいる場所の真上など万が一落下した場合に危険性が高まる場所
- その他強く固定ができない不安定な場所や、設置する事で危険性が増す場所など



取付けを行う前にスピーカーが今回お買い上げの金具に取付けできるかを今一度確認してください。壁側の取付けを行った後に、スピーカーの取付けが出来ないと発覚しても弊社では一切の責任を負いかねます。何卒慎重にご確認ください。



設置作業を行うにあたって、安全性を十分に考慮し、設置中の怪我や部屋及び家財に損傷を与える事のないようにご注意ください。また、作業時は十分なスペースを確保してください。

取付け設置時に必要な道具・工具は揃っていますか？

- プラスドライバー
- ドリル（下穴用、電動ドライバーと併用できる物ならば尚可です）
- 滑り止め付きの軍手（怪我防止、落下防止に便利です）
- メジャー（設置箇所の計測、水平、垂直の計測に使用します）
- ペン、鉛筆（設置箇所、ネジ穴のマーキングなどに使用します）
- マスキングテープ（水平目安の為にがあると便利です）
- 水平器

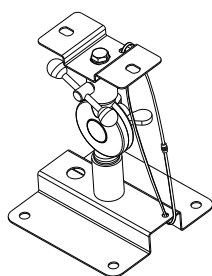
取付けを始める前にもう一度チェック！

- ✓ 付属部品は揃っているか、取付けに足りない部品は無いかな。
- ✓ 金具に不備はないかどうか、破損などの不良部品・不良箇所は無いかどうか。
- ✓ スピーカーの適合をもう一度確認してください。
- ✓ 取付けを予定している壁の状態を確認してください。
 - 取付ける場所に間柱や補強が入っているか（石膏ボードのみの場所は不可）
 - コンクリートの場合は別途取付け業者に依頼した方が無難です。

付属ネジに関して

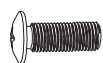
- スピーカー側のネジは、多くのスピーカーを取付け可能にする為に一般的な長さのものを付属しています。ただし、どうしてもそれらのネジで合わないスピーカーもある事から、そのような場合はお客様にてホームセンターなどで適切なネジをご用意ください。
- 壁側のビスに関しても同梱されているネジは木造の柱や補強のある壁に取付けを行う事を前提としています。

付属の部品一覧



a. スピーカー金具本体
…1 個

スピーカーを金具に 取付ける際に使用する部品



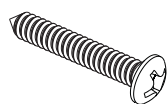
b. M5x10 ボルト
…4 本



c. M5 ワッシャー
…4 個

※多くのスピーカーに合う一般的な長さのネジが付属しています。万が一付属のネジで合わない場合は、別途ホームセンター等で適切なネジ類をご用意ください。

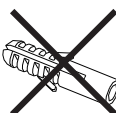
金具を壁に取付ける際に使用する部品



d. 5.5mm×30
タッピングビス…8 本



e. タッピングビス用
M6 ワッシャー…8 個



コンクリート
アンカー…8 個

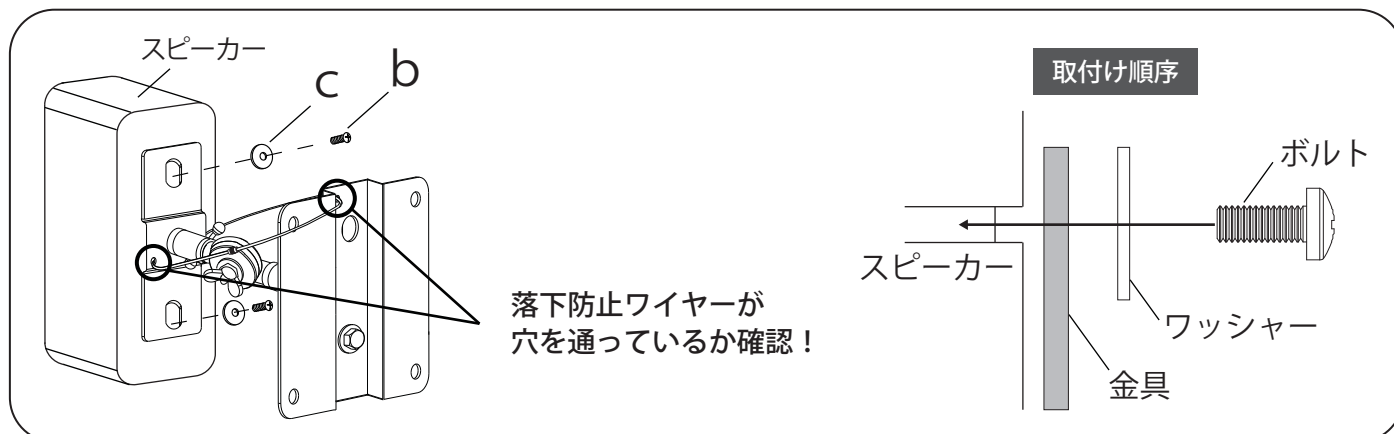
※木造の柱・補強壁用のネジが付属しています。万が一付属のネジが壁の種類や状態と合わない場合は、別途ホームセンター等で適切なネジ類をご用意ください。

※本商品にはコンクリート・鉄筋への取付けに関する説明も記載をしておりませんので、コンクリートアンカーは使用しません。

Step 1. スピーカー背面に金具本体を取付ける

下の図を参考にして、スピーカー背面に開いている金具取付けネジ穴に▼スピーカー金具本体 (a) を▼M5 ワッシャー (c)、▼M5×10 ボルト (b) を使って取付けます。

落下防止ワイヤーが2箇所の穴(壁側金具/スピーカー側金具) を通っているか確認してください。



⚠ 注意



付属しているボルト類は基本的なものになります。取付けるスピーカーのネジ穴の径や深さに合わない場合は別途適切なボルトをご用意の上お取付けください。無理に取付けを行うと、スピーカーの破損や落下の危険があるので絶対に行わないでください。



本金具は M6 サイズまでのボルトに対応しています。M8 ボルトは使用できませんのでご注意ください。

Step 2 - ①. スピーカー金具本体の取付け ～事前確認・準備 1～



注意 取付け前に必ずお読みください！



ご自身での設置作業は自己責任での設置となります。壁面への取付け不備による事故や損害に関しては一切の保証がございませんので、取付けを行う際は十分に確認し、安全性を考慮したうえで作業を行ってください。少しでも不安が残る場合は無理に作業を行わず、専門業者に設置依頼の相談をしてください。



ご自身でお取付けになる際は必ず自己責任のもと、安全確認等に細心の注意を払い、無理のない作業を行ってください。スピーカーや金具の重量によってはもちろんの事、基本的には安全を考慮し2人以上で作業を行ってください。

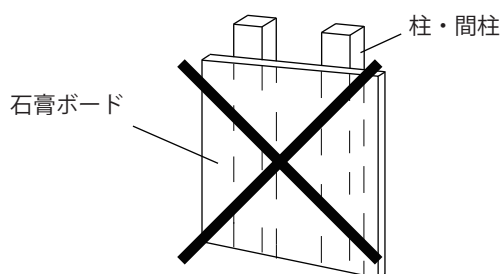


取付ける壁面によって壁側の耐荷重が異なります。金具を設置する壁面はスピーカーと金具などの総荷重に長期間十分に耐え、地震や想定される外力に十分耐える場所に取付けてください。

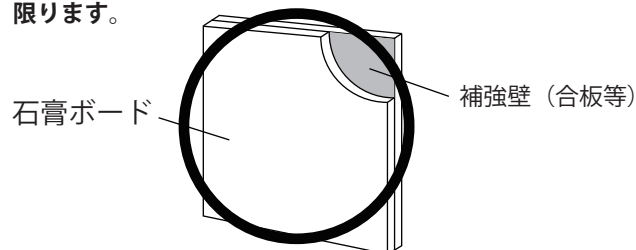


天吊り設置をする場合、天井裏の梁や補強箇所に取付ける金具となります。天井裏や取付けの知識が無い場合、天吊り設置は大変難しい作業となりますので、専門業者への依頼を強くお勧めします。

- ❗ 石膏ボードの裏側に柱や間柱がある場合
本商品は間柱へ設置することができません。

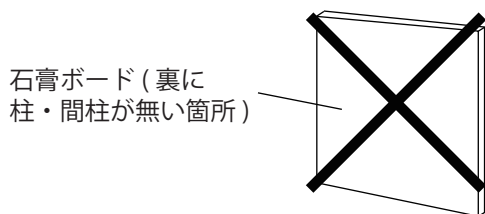


- ❗ 石膏ボードの裏側(表側)に補強が入っている場合
別途合板等で補強を入れてある場合、その部分に取付けが可能です。補強用の合板等は **12mm 以上の厚みの場合に限ります。**



- ⊘ 石膏ボードのみの場所へ取付けを行う場合

石膏ボードのみの場所への取付けは出来ません。
石膏ボード自体の強度が弱く、取付けを行った場合に壁ごと破損、落下する恐れがあります。



- ❗ 壁がコンクリートやレンガの場合
鉄筋の柱へ取付けを行う場合

コンクリートへの設置や鉄筋への取付けは、DIY が得意な方でも大変困難な作業となります。
コンクリートやレンガの壁への取付け工事・鉄筋への取付け工事は専門業者へご依頼ください。

※本商品にはコンクリートへの取付け・鉄筋への取付けに関する説明は記載をしておりません。

- ⊘ 砂壁・土壁の場合

砂壁や土壁の場合は、石膏ボード同様強度が弱くお取付けができません。内装業者・電設業者などに依頼し、別途壁に補強工事を行う必要がございます。そのまま取付けを行った場合は壁ごと破損、落下する恐れがある為絶対にお止めください。

Step 2 - ②. スピーカー金具本体の取付け ～事前確認・準備 2～

⚠ 注意 必ずご確認ください

- Step 2 の取付け作業を先に行って下さい。万が一スピーカーが取付けできなかった場合、壁側の施工が無駄となってしまいます。(無駄に壁側を傷つける事になります。)
- 先に壁側を取付けてしまったあとにスピーカー側が合わなかったと発覚した場合でも一切の返品保証および壁側の工事保証等はお受けできません。
- 下穴を開ける際や▼スピーカー金具本体 (a) を取付ける際に違和感を感じた場合は、ただちに取付け工事を中止し、専門業者にご相談ください。

重要

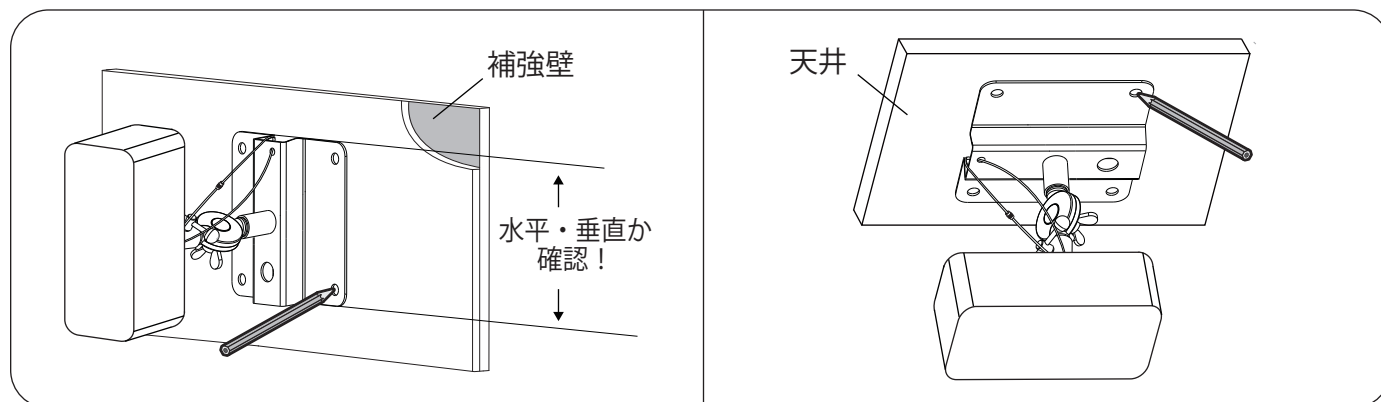
- こちらで紹介している取付方法は、あくまで一般論です。お客様の壁の構造・強度などによっては必ずしも当てはまらない場合がありますのでご注意ください。また、お客様の壁構造・強度はお客様自身で確認していただくしか方法がなく当社では責任が持てないものとなります。
- お客様の壁構造の問題などでお取付けできない場合でも返品は不可となりますのでご注意ください。
- ご心配な方は事前に取付け業者などにご相談いただく事をお勧めいたします。
- スピーカー壁掛け金具は棚受け金具に似ています。例えば、棚を取付けようとして棚受け金具を購入された場合にお客様の壁構造の問題で取付けが出来なかった場合でも返品を受け付けていないのが一般的です。スピーカー壁掛け金具も同様で、**金具自体の不備や不具合にはご対応できますが、お客様の壁構造・強度については当店では責任が持てない事をご了承ください。**

Step 2 - ③. スピーカー金具本体の取付け

！ 補強用の合板等は 12mm 以上の厚みの場合に限ります。

【1. 取付ける位置を確認し、印をつける】

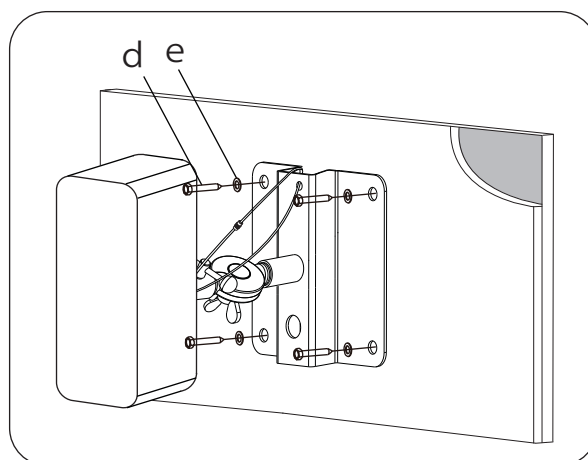
- ▼スピーカー金具本体 (a) を壁 / 天井に合わせ、どこに取付けるかを決めて印をつけてください。補強壁の場合、必ず補強のある部分になるようにしてください。



【2. 印を目安にスピーカー金具本体を取付ける】

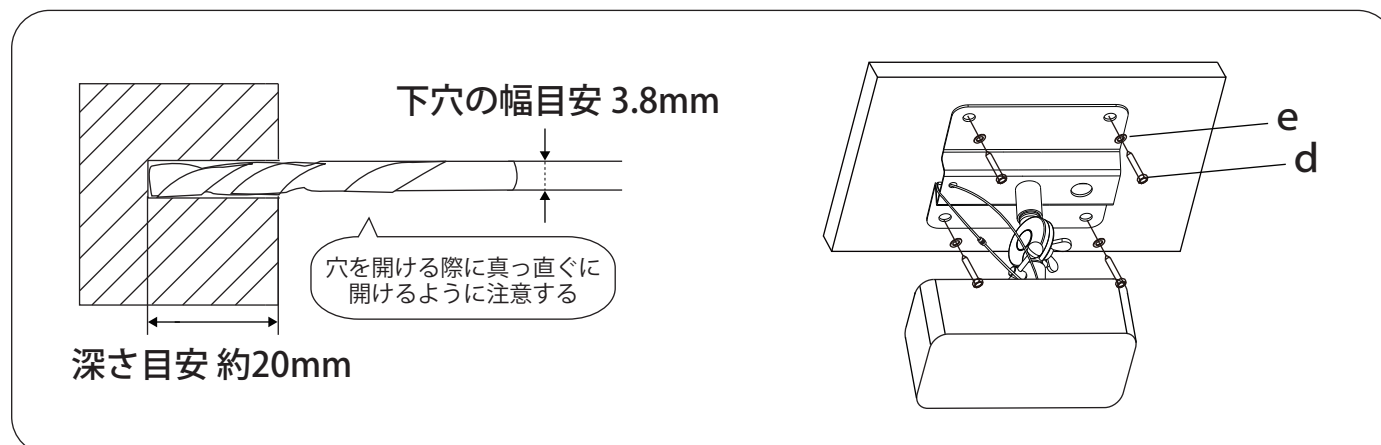
補強壁の場合

- 1. でつけた印の箇所を目安に▼スピーカー金具本体 (a) を取付けます。▼5.5mm×30タッピングビス (d) と▼タッピングビス用 M6 ワッシャー (e) を使用して、右の図を参考に▼スピーカー金具本体 (a) をしっかりと取付けてください。
[→Step 3 へ進む]



天井の場合

- 1. でつけた印の箇所にドリルを使用して下穴を開けます。ズレないように十分に気を付けて作業を行ってください。電動ドリルがあるとスムーズに作業が進みます。
- 全ての穴を開けたら、▼スピーカー金具本体 (a) を取付けます。▼5.5mm×30 タッピングビス (d) と ▼タッピングビス用 M6 ワッシャー (e) を使用して、下の図を参考に▼スピーカー金具本体 (a) をしっかりと取付けてください。
[→Step 3 へ進む]



※ 下穴の幅及び深さの目安は付属のタッピングビスを使用した場合の数値です。別途ビス類をご用意された場合は、用意したビス類に応じて適切な大きさの下穴を開けてください。

Step 3. 角度調節を行う

- 以下のネジでそれぞれ上下角度・回転を調節できます。調節後は必ずしっかりとネジを締めてください。



注意

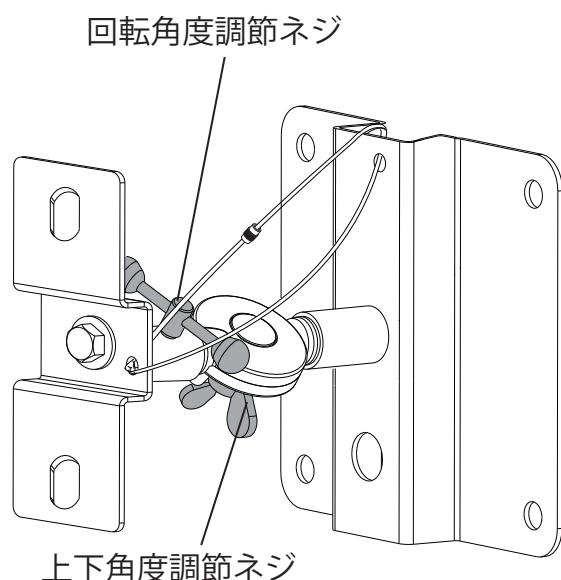


回転角度調節ネジ、上下角度調節ネジは緩めすぎると抜け落ちて落下します。調節する際は適度に緩め、位置を決めたら必ずしっかりと締めてください。

また、定期的に緩んでいないか確認し、増し締めを行ってください。



落下防止ワイヤーを必ずご利用ください。



注意

落下の恐れがありますので、
回転角度調節ネジ・上下角度調節ネジ
の緩めすぎに注意してください。

Step 4. 最終確認

- ☑ 各取付け部分およびボルトやネジ・ナットの緩み、ガタつきがないかを確認してください。
緩みが確認できた際は増し締めをしっかりと行ってください。少しでもガタつきや、違和感があった際には取付けを中止してください。また、この確認作業は定期的に（3ヶ月～半年に1回程度）実施し、問題なく使用できていることを確認してください。
- ☑ 経年使用による落下が無いように注意をして使用してください。

エモーションズ株式会社

〒214-0032

神奈川県川崎市多摩区枡形 2-1-17 岩本ビル 4F

店舗名：エース・オブ・パーツ /KABEYA

TEL : 044-455-4728

MAIL : info@emotions.co.jp